事務局長談話８

～安全衛生対策強化月間～「ご安全に」の声掛けの強化を！～

ご安全に！2023 年となり、早や１か月が経過しました。仕事始めの１月５日には、基幹労連役職員で水天宮へ安全祈願に行ってまいりました。10 件 12 人もの尊い仲間の命が失われてしまった昨年の反省も込め、基幹労連に係わる全ての仲間の安全と健康、今年こそは死亡災害ゼロをと祈願しました。

昨年、2022 年の死亡災害 10 件 12 人（2021 年：16 件 16 人）について、確認中の２件３人を除く状況を見ると

①直営会社社員と協力会社社員の比率では、協力会社社員が 67%（2021 年：64%）と若干高い

②勤続年数別では、10 年以下が 45%（2021 年：58%）、経験年数別では 10 年以下が 44%（2021 年：50%）、年齢別では、46 歳以上が 67%（2021 年：72%）であり、中高年齢層で勤続が短く、経験の浅い方が多く被災

③型別では、挟まれ・巻き込まれが３人（2021 年：６人）と多い傾向が続いているが、これまで発生件数の多かった墜落・転落（2021 年：４人）は発生していない

という傾向になっています。

こうした状況もふまえ、１月 16 日付けの基発№424 で「重大災害をはじめとする労働災害の撲滅」を重点目標に掲げた、２月の「安全衛生対策強化月間」における実施要領を発信しました。

具体的には、①重大災害をはじめとする労働災害の撲滅に向けた活動　②職場における「ご安全に」の声掛け運動の強化　を実施事項として、死亡災害を分析・取りまとめたデータの活用による類似災害発生防止に向けた活動、安全ポスターの掲示による啓発活動、職場パトロールによる不安全箇所の是正活動、協力会社への安全衛生の取り組み要請などをお願いしています。

あらためて、重大災害の撲滅に向けて「自らの誓い」はもとより「仲間の安全と健康を願う気持ち」との思いを込めた「ご安全に」の声掛けの実践、職場への徹底・浸透をはかっていただきたいと思います。

いよいよＡＰ２３春季取り組みがスタートします。取り巻く情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気後退から回復基調にありますが、引き続くコロナ禍による影響、ロシア・ウクライナ問題の長期化にくわえ、急激な円安や物価上昇により産業・企業のみならず私たちの生活にも影響が出ています。引き続き、厳しい交渉が予想されますが、職場・組合員の懸命の努力と対応に報い、生活を維持・向上させるためにも成果を得るのは勿論のこと、労使が真摯に協議・交渉する経過をタイムリーに職場・組合員に伝えることも重要です。そして、これら取り組みの礎となるのは、安全と健康です。活動・行動するあらゆる場面で「ご安全に」の声掛けをお願いいたします。

全ての職場でご安全に！全ての働く仲間のためにご安全に！思いを込めてご安全に！

2023 年２月１日

日本基幹産業労働組合連合会
事務局長　津村　正男